

無数に広がる知らない世界

お勧めします。 がっています。ぜひ、 とができない世界が無数に広 ります。本の中でしか知るこ 館にはいろんな分野の本があ 豊かに育まれます。市民図書 ることで、想像力や感受性が 高まり、いろんな知識にふれ るだけでは身に付きません。 つ追いかけることで集中力が 本を手に取り、文字を一つ一 き便利ですが、ただ眺めてい インターネットが普及し瞬時 に情報を手に入れることがで 本は知の宝庫です。現在は 読書を



古庄秀樹 小城市民図書館 館長

1冊 『有明干拓社会の形成 佐賀学ブックレット3 社会の 形成 入植者たちの戦後史ー』 佐賀大学地域学歴史 鬼嶋淳·藤永豪/著 文化研究センター

私の



された貴重な一冊です。 ます。入植者の歴史が見事に復元 暮らしぶりが鮮明に浮かび上がり 干拓の歴史にふれ、入植者の体験 談や聞き取りから干拓地における 江戸時代から第二次大戦後までの

魅力

読 書で脳が活性化

うか。 せん。 掻き立てるのも読書の大きな 進める際に求められる行為で 効用のひとつではないでしょ 心を満たし、更なる好奇心を 若男女を問わず個々人の好奇 あることは言うまでもありま 読書は、 しかし、日常生活で老 人が仕事や学業を

以上に広い範囲で脳の血流が ています。 有意に増加することが分かっ よって、 した。最近の脳科学の進歩に で述べていたのを思い出しま 満ち足りた人生の出発点 かつて作家の村上龍 好奇心にある」と何処か 読書中の脳では想定 が、

私の1冊

『キュリー夫人伝』

河野万里子/訳 エーヴ・キュリー

白水社

キュリー夫人伝

ることも明らかになっていま に働いていることが背景にあ の部位では、 しかも血流が増える脳のそ で良く知られています 脳のト レーニング 神経細胞が活発 (脳ト

生涯を、娘である著者がつづっ

ノーベル賞受賞に輝いた波乱の

強い信念と努力で2度の

た伝記です。特に小・中学生に

読をお勧めします。

は、 位が左右の大脳半球表面でよ によって、 川島隆太先生(東北大学) るのに大変役に立つ営みの 脳 り広範になることを指摘して とつであることは事実です。 います。このように読書は (神経細胞) を活性化させ 黙読よりも音読すること 血流の増加する部

田渕和雄 (脳神経外科医)

小城市病院事業管理者

文章力が身に付く

魅力

幼少期から誕生日プレゼント 賞するなど、文才も光る田中 チコンテストで最優秀賞を受 で国税庁長官賞や知覧スピー 好きな田中結さん。 読んだこともあるほど、 の図鑑を愛読し、1日で7冊 さんにお話を伺いました。 税の作文 読書

室や市民図書館へ通い詰めて 小・中学生の頃は学校の図書 けては読書をしています。 本を借りていました。 本が大好きで、 時間を見つ

にして、 でいます。 じっくり本の世界観を楽しん 本を読むときは頭を空っぽ 像を膨らませながら、 本の世界観に集中

くれます。 現の幅を広げて 本は言葉の表

読書

ことができます。 できるのは楽しいです。 で自分の気持ちや考えを表現 自己表現の手段。自由な言葉 直すきっかけにもなります。 とができ、自分自身を見つめ 入ったような気分を味わうこ 世界に触れ、他人の人生に 私にとって文章を書くのは また、自分の知らなかった

私の1冊 シリーズ 「黒魔女さんが通る!!

石崎洋司/著 講談社



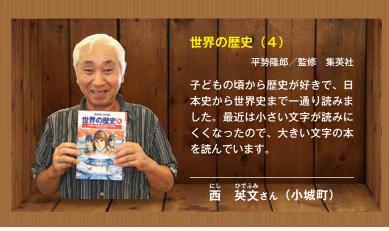
す。大人でも楽しめると思いま 小学3年生で出会い、今も新刊 きになるきっかけとなった本で リーの構成が面白く、小説が好 を楽しみにしています。ストー

▼幼い頃から絵日記を楽しんで書いていました。

さまざまな逆境にありながら



広い知識を得る しい表現や、 をとおして、 新 幅



図書館で聞いた 私の思い出の1冊

簡単に暮らせ

ちゃくま/著 大和書房

普段の家事や暮らしを楽にする知 恵がたくさん詰まった本です。実 際の生活でとても役に立ちます。

がまち ありみ 杉町 有美さん(三日月町)

もっと読書が楽しくなる、本を読むための前準備~本のあれてれ~



本にもいろいろな大きさがあります。

文庫本 (105× 148mm) 新書判 (105× 173mm) **単行本**

B6判など)

雑誌

(A4判、B5判など)



図書館では、たくさんの資料を整理して棚に並べ、探しやすくするため、本のテーマや書かれた内容によって、0~9の10の分類に分けています。これはどの図書館に行っても同じ方法がとられています。

第1区分(テーマ別)

 0
 総記
 5
 技術

 1
 哲学
 6
 産業

 2
 歴史
 7
 芸術

 3
 社会科学
 8
 言語

 4
 自然科学
 9
 文学

【例】谷川俊太郎詩集

911.56

詩

人詩生

文 学 子 本 文 学 --

第2区分、第3区分

第2区分では第1区分で選んだ 内容の詳細の分類、第3区分で は第2区分で選んだ内容の詳細 を記します。

本の起源

~本は紙がないと作れない!?~

世界各地には文明や地域毎に独自の文字があり、記録が"何か"に書きとめられていました。紙が発明される前から独自の材料で本が存在したのです。

紀元前5,000年前、エジプトではパピルスという草のくき、メソポタミアでは粘土板に書き記していました。

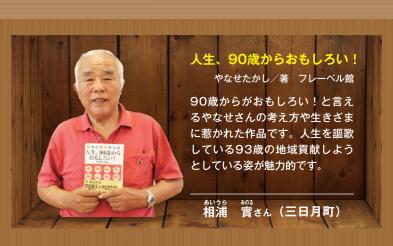
西洋では羊やヤギの皮から作った羊皮紙、アジア (インド、スリランカ、タイ)では木の葉、中国では、「木簡」「竹簡」と呼ばれる木や竹の「ふだ」を使用していました。

1世紀ごろに中国の蒸倫が以前からあった紙の作り方を改良・発展させました。それは中国との交流があった日本にも伝わり、日本では、7世紀ごろから製紙が盛んになり、日本独自の「和紙」が誕生しました。その後西洋との貿易の中で技術を取り入れ「洋紙」が始まり、現在に至ります。

(参考)『本のれきし5000年』 辻村益朗/作 福音館書店

3桁になったものが基本的な分類記号ですが、 このように、小数点をつけて更に細かく分類する こともできます。

例えば、谷川俊太郎さんの詩集『谷川俊太郎詩集』は、911で詩歌を表しますが、範囲が広いので、小数点以下で「詩」か「歌」のどちらなのか表します。このように資料に分類記号をつけて棚に並べていきます。各資料の分類は、背表紙の下の方に貼っているシールに表示されています。





毎月

司馬遼太郎/著 講談社

司馬遼太郎の作品が好きで、特に この作品は繰り返し読みました。 佐賀出身の人物が登場するので、 身近に感じます。人物や表現の書 き方が好きな作品です。

エガレら く み こ 工頭 久美子さん(三日月町)



宮尾登美子

小説が好きで、その中でも1日で 読み終わってしまったほど引き込 まれた本です。読み終わった後も 主人公のその後に想像をかき立て られます。

タミエさん (小城町)



大人の読書の第一歩

子どものころは読んだけ

今更子どもの本なんて

して、

母として、

子どもた

…と思っていませんか?

私も大学時代は芥川賞受

ド

野ばら社

少年時代に習った、懐かしい歌が 掲載されていて、当時の様子を思 い出しては歌っています。基本的に 毎日図書館に足を運んでいます。 読書も図書館友だちに会うのも楽 しみです。

えぐち ^{はのさぶろう} 章三郎さん(小城町)

読

h

でみ

ませ なた

h も

か?

大人のあ

子どもの

大人に すすめな本

現実逃避したい時!? いやいや、何かに没頭したい時に!

世界へ入れます。 ハラ夢中になって本の わくわくドキドキハラ

きにおすすめ。

13 пне 13 же 13 не 満月の夜

アレックス・シアラー/著 金原瑞人/訳 13日と満月の夜 求龍堂

日々忙しくしている 人に送りたい本。

程よい文章量でさらっ とよめる。コーヒー好 ABOUT COFFEE

猫にもあるんです。/ 高齢化問題。

さんなら読んでおきま 年老いた猫とのお付き しょう、の本です。 合いについて、猫飼い

考え方を 変えたい時に。

思い込みは 人生の

それ、ぜんぶ

ち。そんなときに。 が狭くなってしまいが 思い込み過ぎると考え

ヒーの絵本』

13ヵ月と13週と

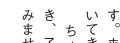
平澤まりこ/絵 ミルブックス 庄野雄治/作

> **『うちの老猫の** 言うことにゃ』

ふじのはるか/著 富士見書房

> 思い込み』 人生の99%は

ダイヤモンド社 鈴木敏昭/著



の本の面白さに目覚め、そ たのがきっかけで、子ども

せっせと子どもの

本を読み始めました。後に

みませんか? いてきます。 洗われるような気がしま えていて、 シンプルにストレートに伝 ていくうえで大切なことを 子どもの本は、 ちょっと心が疲れ また、 子どもの本を手にして 生きる勇気も湧 読んだ後、

卓/作

理論社)を手にし

『星のカンタータ』(三木

ろが、

図書館に就職し、偶

せと読んでいました。とこ ストエフスキーなどをせっ 賞作や安部公房の作品、

ちとともに子どもの本を楽 しむことができました。 人が生き 心が たと を丁寧にわかりやすく描 ちないじめや差別の問題 がつい起こしてしまいが いていて、しみじみと心 力で出版された本で、人 原書は1944年アメリ



私の1冊

『百まいのドレス』 石井桃子/訳 エレナー・エスティス/作 岩波書店



白根恵子さん

佐賀女子短期大学 キャリアデザイン 学科教授

この秋こそ、お気に入りの一 見つけにぜひ図書館へ。

に響くものがあります。

冊を

工藤直子/著 もともと工藤直子さんの作品が好 でした。講習会などで実際にお 会いし、その気さくな人柄に触れ て、工藤さんの書かれる作品に更 に惹かれるようになりました。 ゕすで 一子さん(牛津町)